

2016年5月24日
株式会社リビエラリゾート

リビエラリゾート、フェラガモ氏が会長を務める高級ヨットメーカーと提携

— 日本で初めて、世界的ヨットブランド「SWAN」シリーズの独占販売契約を締結 —
～ 既存顧客への販売強化に加え、船艇を所有していない「若年富裕層」獲得も強化 ～

リビエラグループのマリンリゾート事業を運営する株式会社リビエラリゾート(本社:神奈川県逗子市、代表取締役会長:渡邊昇、以下リビエラリゾート)は本日、レオナード・フェラガモ氏が会長を務める高級ヨットメーカーNautor's Swan(ナウターズ・スワン、本社:フィンランドヤコブスタード、CEO:Paolo Sterza、以下スワン社)と提携し、日本で初めてヨットブランド「SWAN」シリーズの国内における独占販売代理店契約を締結したと発表しました。



今回の提携は、既存顧客への新艇販売強化および当社が運営するワンランク上の会員組織「リビエラマリンクラブプレミア」の会員サービスの向上のほか、世界中の富裕層に愛される SWAN ブランドの訴求力を活用することで、上質なマリンレジャーに興味はありながらも船艇を所有していない「若年富裕層」の獲得強化を目的としています。

スワン社は、今年で設立 50 周年を迎える世界屈指の高級ヨットメーカーで、同社が手掛ける SWAN は世界でもっともラグジュアリーなヨットブランドのひとつとして知られています。その確かな技術とクラフトマンシップにより仕上げられる美しい船艇は世界中のヨットファンを魅了してやみません。また、スワン社が、2年に1度開催する「Rolex Swan Cup」は世界的にも名高いヨットレースとして知られており、“世界で最も優雅で安全なヨット”とも称される SWAN が 100 艇以上集結し熱戦を繰り広げる様子は圧巻です。

「TOKYO2020」セーリング競技会場を有する相模湾エリアは、今後改めて国内有数のマリンレジャーのメッカとして脚光を浴びることが予想されています。当社では、これまで、子どもたちが海を通じて自然



と触れ合い心を豊かに育てる「リビエラ海洋塾」を開催するなど、マリンレジャーファンの裾野を広げる「海洋普及」活動に注力していましたが、SWAN の取扱い開始は新たなファン獲得に貢献するものと考えております。

当社では、3 年間の売上を 10 億円と予測するとともに、2015 年度に全売上構成比 13%であった新艇販売事業を、2018 年度末までに 26%へと引き上げることを目指します。

以上

Nautor's Swan 社について

ナウターズ・スワンは、フィンランドのヤコブスタードに本社を置く、1966 年に設立されたヨットメーカーです。現在は、まさにスーパーヨットと呼ぶにふさわしい、長さ 50 フィート から 115 フィート の高級ボートを建造しています。SWAN の歴史は、Sparkman と Stephens がデザインした 36 フィートの Tarantella (初期グラスファイバー製ヨットの 1 つ)によって 1966 年に始まり、その名声は 1974 年に開催された Whitbread Round the World Race (現 Volvo Round the World Race) で、メキシコ人実業家が乗る Swan 65 Sayula II が優勝した事で確かなものとなりました。1998 年からは、イタリアファッション界の巨匠で Swan オーナーでもあるフェルッチオ・フェラガモ氏が率いる投資グループ傘下で、デザイン性が高く細部にまでこだわり抜いたヨットを造りつづけています。

リビエラリゾートについて

リビエラリゾートは、リビエラグループの一員として艇置事業、舟艇販売、クラブビジネス、免許、ショートクルーズのほか、リビエラ逗子マリーナとリビエラシーボニアマリーナの運営とそのマンション棟の管理ならび不動産仲介業務などを行うマリンレジャー企業です。逗子マリーナは、日本におけるマリーナの草分けとして高いステータスを誇り、シーボニアマリーナは、海を愛するヨットマン達から支持され続けています。また、神奈川県からの指定管理を受けている「葉山港」の運営も受託しています。

リビエラグループについて

リビエラグループは、世界中の著名人がメンバーに名を連ねる、1926 年に創設された米ロサンゼルスの名門ゴルフコース「ザ・リビエラカントリークラブ」をフラッグシップとする企業グループです。日本国内では、自社で保有する「リビエラ東京(池袋)」、「リビエラ青山(南青山)」、「リビエラ逗子マリーナ(逗子)」、「リビエラシーボニアマリーナ(三浦)」の 4 拠点を中心に、ウェディング、リゾート、マリンレジャー、レストラン・カフェ、スポーツクラブ、建築・不動産など多岐にわたる事業を展開しています。

＜本リリースに関するお問い合わせ・取材依頼先＞

株式会社リビエラリゾート 担当:新通(しんどおり)・大平
【TEL】0467-24-1000 【Mail】shindori@riviera.co.jp